

### 【トラック03】

あやめ「ちゃんとお部屋で待機してえらいね、兄貴」

あやめ「私たちのメッセージ、ちゃんと守ってくれたんだね」

あやめ「それじゃあ今日も始めようか、兄貴も期待、してたんでしょう？」

かな「今日もお仕置きするからお部屋で待っててって…」

かな「期待してなかつたら普通こないもんねー、先生♡」

あやめ「じゃあ早速、見ててあげるから全裸になって、兄貴」

あやめ「当たり前でしょ？これはお仕置きなんだから、ちゃんと言うこと聞いてね」

あやめ「それに、私、まだ兄貴のこと許してないからね」

かな「昨日、無様に自分から敗北射精を選んだこと思い出して？」

かな「小さい女の子に支配される快感、ぞくぞくしたでしょ？」

かな「ほら、マゾ…脱げ♡」

あやめ「くすっ、言いなりになって…ほんと変態」

かな「あはっ、ちゃんとマゾらしい姿になれてえらいよ～♡」

かな「それじゃあ今度はそこ横になって？」

かな「私たちが添い寝してあげる♡」

かな「あれあれ？まだ先生のおちんぽさん半勃ち状態だ」

かな「でも、このマゾチンポ、すぐに元気になる方法知ってるんだよお♡」

かな「え～っと…じゃーん、私たちのスマホ」

あやめ「ねえ、ここに何が映ると思う？」

あやめ「それはね、マゾで変態な兄貴が…興奮しちゃうもの」

かな「ロリコンな先生が大好きなものだよ♡」

かな「それじゃあ、動画を再生～」

かな「にひひっ、何が映ってるか分かる？」

あやめ「くすっ、私たちのお・な・に・い♡」

あやめ「お兄ちゃんを想像して、エッチなことしてるの♡」

あやめ「ロリコンの変態は...JCのリアルオナニー、好きだよね？」

かな「にいにからしたら最高のオカズでしょ？」

かな「私たちとオナニー鑑賞しながら...そのおちんぽ、ズリコキしまくっていいよ？」

かな「にいにの恥ずかしくて卑しい姿、笑ってあげる♡」

あやめ・かな「ほら、さつさとシコレ、このどマゾ」

あやめ「ほらお兄ちゃん、オナニー中の私...おっぱい揉んで乳首こねこねしてる♡」

あやめ「触り方もいやらしくて、おちんぽにくるんじゃない?♡」

あやめ「今日の前に...動画に写ってるおっぱいあるんだよ？」

あやめ「ほら、服めくってナマ乳首も見せてあげる♡」

あやめ「この乳首をコネコネしてえ、気持ちよくなってるの♡」

カナ「ねえにいに、私の方も見てよ♡」

カナ「腕にあたってる柔らかおっぱいとぷっくり乳首...」

かな「いつもこの動画みたいにオナニーしてるの」

カナ「優しくクリクリって触って、爪の先で、カリカリ～ってして...」

かな「そうするとお、気持ちよくなっておまんこがキュンキュンするの♡」

あやめ「そういえば、お兄ちゃんも立派なマゾ乳首さん、持ってたよね♡」

かな「たしかに～、指でコリコリ、カリカリってするとお...」

かな「すぐに、あんつあんつ♡って感じちゃう、へ・ん・た・い・ち・く・び♡」

あやめ「雑魚ちんぽはお兄ちゃんが頑張ってシコシコしてるからあ...」

あやめ「乳首は私たちが気持ちよくしてあげる♡」

あやめ「変態のマゾ乳首」

あやめ「カリカリカリカリ...カリカリカリカリ...カリッ」

かな「ロリコンのマゾ乳首」

かな「カリカリカリカリ...カリカリカリカリ...カリッ」

あやめ「あはっ、びくってしてる~、マゾオスは乳首カリカリ大好きだねえ♡」

かな「ふつー男ってこんなに乳首感じる?」

かな「にいには...すごく恥ずかしい生き物だね♡」

あやめ「カリカリ...カリッ...カリッ...カリカリカリカリ...」

かな「カリカリ...カリッ...カリッ...カリカリカリカリ...」

あやめ「今度は摘むようにしてつねってあげる~」

かな「やーん、ガチ勃起しててつまみやすーい♡」

あやめ「コリコリ...コリコリ...乳首を優しく圧迫するように...コリコリ...」

かな「コリコリ...コリコリ...コリッ...にひひっ、にいにの乳首硬すぎ～♡」

カナ「にひひっ、私たちのオナニー動画と目の前のおっぱい交互に見て...」

かな「にいにの必死な顔キモすぎ～♡」

あやめ「鼻の穴大きくして興奮してる顔、本当に気持ち悪い♡」

あやめ「もっと見たいから、おっぱいと乳首、押し付けてあげる♡」

カナ「んー？どうしたのにいに、シコシコの手遅くなつてない？」

カナ「シコれって命令したはずなのにどうしたのかなー？」

かな「もしかして...メスガキオナニー見ながら、囁きマゾ乳首いじめされて...」

かな「もうイキたくなっちゃったとかあ？♡」

あやめ「ざっこ、早すぎだし♡」

あやめ「マゾさんはあ...ちょっとの我慢もできないのお？♡」

あやめ「でも、まだオナニー動画の途中だしい」

あやめ・カナ「勝手にイくな、このマゾ♡」

カナ「あ、チンシコやめちゃだめだよ？ スピード緩めるのもだめ♡」

カナ「本気オナニーで最後まで耐えて、にいに♡」

あやめ「ほら、ちゅこちゅこ…ちゅこちゅこ…」

あやめ「私たちのオナニーをオカズにして…雑魚ちんぽの皮をいっぱい使って…」

あやめ「ちゅこちゅこお♡」

かな「あ、見てにいに…私たちのオナニー…今度はおまんこ、触っちゃってるよ？」

かな「気持ちよさそー♡濡れ濡れの子供おまんこを、コスコス、さわさわ♡」

あやめ「メス汁がついた染みつきパンツの上から…」

あやめ「おまんこさわさわ…コスコスしてるねえ♡」

かな「にひひっ、にいにの雑魚ちんぽも我慢汁が溢れてる…」

かな「自分のおてて、汚いマゾ汁で汚れちゃってるよ？」

あやめ「臭そうなマゾ汁♡だっさ～♡」

あやめ「ねえお兄ちゃん…JCのオナニー見て、そのJCに両側でおっぱいを当てられて…」

あやめ「乳首カリカリされて、にやけたキモ顔晒して…」

あやめ「これってとんでもなくロリコンの変態だよね、自覚あるう？」

かな「にひひっ、なんなら、にいにのチンポコキ姿、撮影して友達に流してあげようかあ？」

かな「そしたらにいにの大好きな小さい女の子にいっぱいバカにしてもらえるよー？」

かな「ロリコンマゾが頑張って雑魚チンポしごいてる姿…」

かな「きもーい♡って笑われながら、変態乳首もお尻の穴も隅々まで見られて…」

かな「びゅくびゅく～って無様に射精したくない？♡」

あやめ「想像しちゃった？またチンポびくつかせて、きつも～♡」

あやめ「ロリマゾは、女の子にアヘってる姿見られてバカにされたいんだあ♡」

あやめ「あ、見てお兄ちゃん…我慢できなくて、おまんこに指も入れちゃってるよお？」

あやめ「おちんぽ想像して、とろつとろに蕩けた子供おまんこに必死に指ズボズボ♡」

カナ「こんなの見てたら、私までおまんこちゅくちゅくしたくなっちゃう♡」  
カナ「ねえにいに、私のロリマンコ…今とろつとろに濡れてるんだよ？♡」

あやめ「私も、お兄ちゃんのチンコ見てたら、おまんこキュンキュンしちゃって…」  
あやめ「即、ナマハメセックス♡…できるくらいおまんこ蕩けてるの♡」

カナ「もう、いいよね♡にいにだけずるいもんね」  
カナ「今ここで、おまんこに指ズボズボしてオナってもいいよねー♡」

あやめ「私も～、情けないシコシコおかげで生オナしちゃお～」  
あやめ「リアルオナニーの声も楽しんでね、変態お兄ちゃん♡」

カナ「んつあつ、やっぱ…おまんこトロトロお…ちんぽ受け入れる準備できちゃってるう♡」  
カナ「んつあつ…やん…ずぼずぼ気持ちいい…あつ、んう、ふう…んつんう…いいよお…」

あやめ「ほらあ、お兄ちゃんの雑魚ちんぽ想像しながら指ズボしてあげるう♡」  
あやめ「んつ、はあ…とろとろぬるぬるで…やっぱ、すご、気持ちいい…」  
あやめ「私たちのちゅபちゅپしたメス汁の音聞こえる？」  
あやめ「JCが聴かせちゃいけない…んつ、あんつ…エッチなおとお♡」  
あやめ「んつく…やつ…はんつ…きもち…んつ…はんつ…これ好きい…♡」

カナ「気持ちよすぎて…んつ、すぐイッちゃいそう…あんつふう…」  
カナ「あはっ、動画の私たちもお…んつ、気持ちよさそうで…ふつ、んう…もうイキそ♡」

あやめ「私もお…おつ…んつ、おまんこ疼いて…」  
あやめ「もうイキたがっちゃってる…んつ、あんつ…」  
あやめ「お兄ちゃんもお、んつ、はあ…もう、イキたい？♡」

かな「…あはっ、イキたいんだあ♡」  
かな「だったらお願ひしないとね♡」  
かな「あやめ様とかな様のマゾ奴隸としてえ…射精させてくださいって♡」

あやめ「それ言わないとお、イク許可あげない♡」

あやめ「一生惨めにシコってろ、この変態♡」

あやめ「言えるよね？マゾだもんね？ほら、さんはい♡」

かな「うつわ、気持ち悪♡」

あやめ「ぷつ、くすくす…」

あやめ「んっ、ふう…いいよお、私たちとイクの、んっ、ふう…許可、してあげるう♡」

カナ「私たちのお…んっ、喘ぎ声聞きながらあ…」

かな「おつおふう…ザーメンびゅるびゅる出そお？」

あやめ「おつ…おふう…んっ、どろっどろの濃いせーし、いっぱい…んっ出して、ね」

カナ「ね？もういい…んついキたくなっちゃったから…ふう…本気のガチオナするね…」

あやめ「わ、私も…んっ、ガチオナ…」

あやめ「おまんことクリ…いっぱい擦って…おつ、おつ、おふう♡…これやばあ…」

あやめ「んっ♡おちんぽ、欲しくなっちゃう…おふう♡子供まんこが求めちゃう…」

かな「あっあっ、登ってきちゃう…いくのくるかも…」

かな「んっ、んう…ねえにいに、もっとシコって」

かな「私たちのオナニーガン見てえ…雑魚チンポ必死にコスコスしてえ…んっ♡」

あやめ「私も…んっやっぱ、そろそろホントにイキそう…んっあんっ…♡」

あやめ「ほらマゾ、んっんう…さっさと扱け、んっんふう…扱け扱け扱け、あんっ♡」

あやめ「無様にい…雑魚マゾこってりミルクう…んっんつ、射精しろ…はあっ♡」

カナ「あっダメ…私もういく、いくいくいく…おまんこ穴痙攣してイッっちゃうっ♡」

あやめ「んっ私も、お…いく…イキそ…やっぱ、指止まらなくってえ…」

あやめ「じゅぼじゅぼ好きい…しゅきい…」

カナ「いくいくいく、あっ、イク！ んんんん～～～～！！」

あやめ「イク、きちゃう…いくいく～～～～！！んっ…んふう…」

カナ「はあ…はあ…あはっ、にいにも…んつ…ふう…いっぱいゆくびゆくできたね♡」  
あやめ「ふう…はあ…あははっ、お兄ちゃん、マゾ精子こんなに…  
あやめ「よっぽどロリオナニーに興奮したんだね、この変態♡」

カナ「じゃあ変態なにいにが好きなの、やってあげるね」  
カナ「このこってりザーメンを指ですくって…すん、すんすん、くっさあ♡」

あやめ「私も指ですくって…うわ、粘っこくてすごいドロドロ…」  
あやめ「今から私たちが、耳元でごっくん、してあげる♡」

カナ「はあむ…んちゅる…じゅぶ…ちゅる…んちゅる…濃厚な味い♡」  
あやめ「んむっ…じゅる…ほんと…どろどろ…マゾミルク…んつ、じゅるる…」

カナ「ほら…耳元でえ…ちゅる…音聞くの好きなんだもんねえ…へんたい♡」  
あやめ「んむっ、ちゅる…お兄ちゃんの精子…んつ、ごっくん、するね♡、」

あやめ・かな「んつんむ…ごくんつ…んつ」

あやめ「つはあ…くっさあ…♡喉にまだ感覚残ってる…最低の味♡」  
カナ「くすっ…にいに嬉しそう…精液飲んでもらえて良かったね♡」

あやめ「くすっ…兄貴、どんどん負け癖がついちゃうね」  
あやめ「まあ、私は別にどうでもいいけど」

カナ「んー？にひひっ、まだまだ終わらないよ？」  
かな「約束の日まで、徹底的に分からせるって言ったでしょ？」

あやめ「それじゃあまたね、変態兄貴」